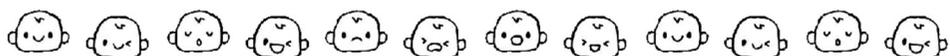




2021年3月 尚徳福社会 末長こぐま保育園

朝晩はまだまだ冷え込みますが、日中はぽかぽかと暖かく気持ちの良い日が増えてきました。いちご組での生活もあとわずかになりましたが、最後まで楽しんで過ごせるよう室内外の遊びを工夫していきたいと思います。

3月下旬には、一足早くばなな組の保育室で生活するようになります。送り迎えの支度の変更点などにつきましては後日お知らせします。



いちご組の子どもたちは少しずつ言葉が増え、気持ちを伝えようとする力が伸びてきています。今はまだ大人の思うような伝え方ではなく、泣いたり怒ったり大声をあげたりする段階です。保護者の方からも「〇〇ができなくて大泣きだった」「〇〇をしたがらなくて困った」という家庭での様子を伺っています。思い通りにならない葛藤を経験して、我慢したり切り替えたりする力がついていきますが、それまでは大人もどう関わったら良いのか悩む時期でもあります。

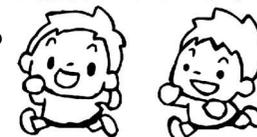
子どもによって、その時によって適した対応の仕方が変わってくるので保育者も試行錯誤しています。私たちが大切にしているのは、まず気持ちを受け止めることです。「そうなのね、今は〇〇の気持ちなの」「イヤか〜、じゃあ後でしよう!」と言ったあと、何か楽しいことをしてからまた誘いかけると気持ちを切り替えられることもあります。我慢や切り替えは、まず心が満足してからできるものです。思いを受け止めつつ大切なことは繰り返し伝え、大きく成長するこの時期を丁寧に関わっていきたいと思います。

お散歩楽しいな♪

よく歩き、動きが活発になっているいちご組の子どもたち。最近では近隣の公園に行ったり消防出張所に消防車を見に行ったりもしています。立ち乗りバギーは特別な乗り物のような感覚で、嬉しそうに乗っています。

公園では滑り台が人気で、はしごを登ると頂上で保育者に笑顔を見せられます。斜面側から登るのも大好きで、上にお友だちがいないときに挑戦しています。斜面や段差を登ることは、平面を歩く・走るという動きとはまた違った筋肉を使います。どうやったら落ちないか？バランスを取りながらももう一步進むには？大人になると何気なくやっている動きでも、いちご組の子どもたちは頭をフル回転させて楽しんでいます。

安全な場所では保育者と手を繋いで歩く機会も増やしています。歩いていると道に生えている草や塀の模様などに興味を示し、立ち止まってじっと見つめたり触ってみたり。ゆったりと自分の足で歩くことを楽しんでいます。横断歩道を渡るときは保育者の真似をして手をあげる姿もあり、よく見ているなあと感心します。



3月からの 着替え・オムツのストックについて

- ・着替えは汚れもの袋に入れてお返しした枚数をお持ちください。
- ・オムツは毎日5枚お持ちください。

※足りなくなりそうなきのみ担任からお知らせします。

残り枚数が気になる方はいつでも保育者にお尋ねください。



日々成長する子どもたちの姿に「今日はどうな表情が見られるかな？」という期待と元気をもらっていました。新生活や感染症など不安なことも多い一年だったかと思いますが、保育園を信頼しご協力いただけたことを感謝しております。

子どもたちの成長をお父さんお母さんと一緒に見守り、感じる事ができたこと嬉しく思っています。いろんな表情を見せてくれる子どもたちと会える毎日が楽しく、幸せでした。これからもずっとみんなの成長を見守っています。